



学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール kanai-es@sado.ed.jp
佐渡市立金井小学校 平成28年6月10日 第3号

行事を通し育つ子どもたち

校長 羽二生 裕

プール清掃が終わり学校では夏に向けた教育活動が始まりました。5月の連休明けから金井保育園の前の新しい歩道を通り、子どもたちは安全に登下校しています。国道沿いの門の所で、子どもたちと交わす朝の挨拶が、私の一日の始まりのエネルギーと元気の源になっています。



4月に入学した54名の一年生は「一年生を迎える会」や「運動会」、日々の教室での学習、他学年との交流活動や昼休みの遊びなどを通して、すっかり金井小学校での生活にも慣れてきました。運動会練習も上学年と一緒に頑張り、全校での話を聞く姿勢や態度もよくなり、成長した姿を感じます。

学校では、「行事で子どもを育てる」という言葉があります。まさしく、運動会は学校にとっての最初の大きな学校行事であり、子どもたちを育てる場となっています。当日の運動会に向けて、学年での練習やペア学年での練習、6年生の応援リーダーが中心となり、赤組・白組に分かれての応援練習の場などがありました。運動会の練習を通し、子どもたちは友達との「仲間意識」を育てます。また、ペア学年の練習では、「助け合いの心や協力の大切さ」などを学びます。応援合戦の練習では、金井小学校の子どもとしての「所属感」や友達とやりとげた「達成感」などを学びます。運動会当日の応援合戦では、私は子どもたちのきびきびした動きや大きな声に、金井小の子どもたちのパワーと一生懸命さを感じました。内々に秘めた金井小の子どもたちの「パワーとやる気」は、まさに「佐渡一の子どもたち」と言えます。5年生の子どもが運動会を終えて次のような感想を書いていました。自分の力を出し切って頑張った様子がよく分かります。

この運動会は、自分の成長につながった運動会だったと思います。なぜなら、応援団として、一つのことに一生けんめい取り組むことができたからです。運動会の日、旗が飛んでいきそうなくらいに大きくふり、体の反りも限界まで反りました。閉会式で白が応援賞に決まった時、これまでの努力が実ったなと思いました。

金井小の一人ひとりの子どもたちが、学校や学年行事を通して、自分の思い出をつくり、一つ一つの体験から自分に自信をもって欲しいと思います。自分への自信が更に自分を成長させます。そして、周りの友達への温かい思いやりや周りの人への感謝の気持ちとなります。心地よいさわやかな初夏の中で、金井小の子どもたちの躍動感を感じる今年の運動会でした。保護者の皆様や地域の皆様の心温まる大きな声援や拍手に心から厚く御礼申し上げます。早朝からの御来校、本当にありがとうございました。

